

令和4年度第1回久留米市スポーツ推進審議会議事録（要旨）

開催要領

1. 開催日時：令和4年11月24日（木曜日） 15時00分開会
2. 会場：久留米市荘島体育館 2階会議室
3. 出席者：委員13名
右田委員・堀委員・森崎委員・松延委員・早田委員・中村敏委員・田中太委員・
中村智委員・野田委員・井手委員・田中紀委員・古賀委員・竹村委員
：事務局3名
4. 欠席者：委員4名 伊藤委員・岩城委員・塚本委員・松藤委員
5. 傍聴者：なし

議事次第

1. 委員紹介
2. 正副会長選出
3. 正副会長あいさつ
4. 議事
(1) 令和2・3年度実績報告について
(2) 令和4年度事業計画及び経過について
5. その他
(1) 市議会報告事項について

配付資料

- 資料 ① 令和4年度第1回久留米市スポーツ推進審議会次第
資料 ② 4議事 (1) 令和2・3年度実績報告 (2) 令和4年度事業計画及び経過について
資料 ③ 令和4年度久留米市スポーツ推進審議会別紙資料集
資料 ④ 久留米市スポーツ推進計画

議事録

1. 委員紹介と会議の成立

<事務局>

事務局より、令和2・3年度審議会未開催のお詫び。委員の紹介。

委員17名中現在13名の出席。久留米市スポーツ推進審議会条例第7条第2項に定める定足数の半数に達しており、会議の成立を報告。

2. 会長・副会長の選出

〈事務局〉

審議会条例第6条第1項の規定により委員の互選で会長・副会長を置くこととなり、満園前会長及び高松前副会長が退任されたため、選出について皆様からご意見をいただきたい。

中村敏委員より「事務局一任」の発言。(一同了解)

事務局より、会長に久留米大学教授の右田委員、副会長に久留米市スポーツ推進委員副会長の古賀委員を提案。(一同了解)

右田会長、古賀副会長には正副会長席への移動をお願いします。

3. 正副会長あいさつ

【右田会長】皆様のご協力を仰ぎながら頑張っていきたい、宜しくお願いします。

【古賀副会長】スポーツ推進委員連絡協議会の副会長に今年度からなったばかりで、まだまだ新人であるため、皆様のご意見を仰ぎながら皆様とともにこの審議会が良き方向に向かうようにしていきたい、宜しくお願いします。

4. 議事

(1) 令和2・3年度実績報告

(2) 令和4年度事業計画及び経過 について、事務局より説明。

〈質疑〉

【委員】

18 ページ、プロスポーツ大会について、市として何か支援しているのか。

【事務局】

本日記載のものは、市が直接的または間接的に支援しているもの。18 ページに載せているものは、市が後援等しているもの。施設の先行予約等で支援しているものもある。

【委員】

MICE 誘致推進事業と書いてあるのに、来たものを受け入れるだけなのかなと思った。アメフトの最終戦もあったが載っていないのは後援がついていないからとか、別に呼んできた訳ではないからか。MICE 誘致はもうちょっと頑張っていたきたい。意見である。

【委員】

部活動の地域移行について、スポーツ庁が示しているガイドラインの概要で総合型クラブの話が良く出ているが、総合型クラブにあまり情報が下りてきていないが。

【事務局】

久留米市としては来年度以降本格的に動き始める前段階で方向性なりを今教育部と市民文化部とで話をしているところで、まだ話し始めたばかり。今後、総合型クラブにもご協力いただいて、市内で推進していく方向性になっていくと思う。

【委員】

まだ話をしてないのか。

【事務局】

学校教育課と体育スポーツ課、文化振興課、生涯学習推進課とで打合せを行っている。県主催等の講習会へも出向き、市の関係機関と話しているし、本日の説明においても受け皿として総合型クラブや加盟競技団体の名前が割と良く挙がっている。総合型クラブへは毎月の定例会の中で、県の方からこういう情報が来ているという事を情報提供している。市内7つの総合型クラブの活動状況には相違があるので、その実情も含めて教育委員会と打合せを行いながら今後その取り組みについてやっていこうと思っている。

【委員】

最後に意見とするが、先日、総合型クラブの運営協議会があった時にこの話をしたら誰も知らなかった。話を一番最初にしっかりしておくべきだと思う。ボランティアでやられるのもいいが、国の方針が総合型クラブを使っていくという事ならば、今ボランティアでやってある方々を総合型クラブに入れてそこに委託する方向かなと個人的に思っている。外部指導者の研修という制度も日本スポーツ協会の指導者資格がないとできなくなってくるだろうと思うので、totoの補助金でそれを取らせるような補助金が総合型クラブへ下りてきて、それを活用して指導者養成という話に今後なっていくと思うので、そこはしっかりしていただきたい。今後こまごまとした話を皆さんとしていきながら頑張っていきたいので、意見で終わっておく。

【会長】

今の問題は、総合型クラブと密な連携を取りながら進めていかねばならないが、今年度から話を詰めて行くという事でいいのか。

【事務局】

文言的には総合型スポーツクラブが出ているが、はっきり言って総合型クラブが主ではなく、実態的には総合型クラブで部活動の受け入れをするのは全国的にも厳しい。そういう中、実際の指導者としては、資格を持ってないと指導できないため、各競技団体や民間スポーツクラブ等のご協力を仰ぎながらでないとなかなか厳しいものがある。そういう中で総合型クラブが大きな受け皿として出てきているので、まず情報が十分に行き届いていないのがこちらのミス、十分に情報共有してやっていきたい。

【会長】

それぞれの部局で意思疎通をしっかり図って取り組んでもらいたい。

【委員】

自分は総合型クラブの担当をしている。今の話の件で、総合型クラブの準備としては、総合型クラブは毎月1回の定例会で情報共有しているし、来週に九州全体の総合型クラブが集まる会議が開催される予定で、そのメインテーマがこの部活動の地域移行という事で、

日本スポーツ協会等の先生から色々な事例の発表がある。そのことを踏まえて、総合型クラブ連絡協議会で話し合いながら、体育スポーツ課とも連携し、総合型クラブでできる部分を取り組んでいこうと考えている。

【委員】

観戦型スポーツイベントの充実という事で18ページに載っている、今年アビスパ福岡と「フレンドリータウンに関する協定」を結んだという事だが、従前はサガン鳥栖と連携したスポーツ教室を開催していた。2・3年度は未実施という事だが、今回アビスパ福岡と協定を結んだ事で今後サガン鳥栖との交流はどうなっていくのか、サガン鳥栖との関係は市として今後どう考えていくのか。

【事務局】

今回議会へ説明する中では、アビスパ福岡に重きを置くのではなく、従来から3市1町（鳥栖市・基山町・小郡市・久留米市）の交流を図るクロスロードの事業の中でサガン鳥栖と交流をやってきており、色々な選択肢を市民の方々にご提供するという考え方で今回協定を結んでいるので、両者ともに連携できる事業をやっていく。

【委員】

報道ベースでは、アビスパを選んだみたいな話が市民の間にも出ている。肌感覚だとサガン鳥栖を応援する方がまだ多いので、誤解を与えると良くない。両方ともそれぞれ応援していくという形で、事業を粛々と進めて行ってもらいたい。

【委員】

16ページ、障害者スポーツに関する事で補足説明したい。桜花台クラブでは毎週土曜日、アダプテッドスポーツ教室を10時から12時で開催している。主に車いすバスケットボールを行っており、りんどう杯出場に向けて練習している。また今年度から車いすテニス教室を復活させている。リニューアルした県立のテニスコートもできたので、月に1回、パラリンピックに出場した岩崎さんが指導している。数年前から西田コート等で教えていて、その教えていた選手が、別紙資料集にあるようにオーストラリアで準優勝した実績もある。その他、学校体育への出前授業として、東国分小、高良内小、山川小で、車いすバスケットボールと、共生スポーツに関する講義と実技を開催している。3校で約300人の児童に聞いてもらった。例年市外の学校から依頼があっていたが今年度は市内の学校が多い。また、県障がい者スポーツ大会に出場し、とちぎ国体まで進み4位を取った選手もいる。この前の福岡マラソンではうちのクラブに来ていた信愛の生徒が優勝している。こういう風に活躍できるのも道具が必要で、久留米市で今年度1,500万円かけて車いすをはじめとした障害者スポーツ備品を購入していただいているので、活用していきたいと考えている。

5. その他

(1) 市議会報告事項について、事務局より説明。

〈質疑〉

【委員】

久留米アリーナや陸上競技場は県の施設だが、久留米市はどこまで関わっているのか。

【事務局】

久留米アリーナについては、体育館部分とトレーニング室は県の施設、板張り及び畳敷きの武道場と2階の弓道場は市の施設、という事で、久留米アリーナは県と市の施設である。それを含めた中央公園内の陸上競技場や補助競技場、テニスコートと、野球場がある。これらの全体的な管理を指定管理にお願いしている。市は県に事務委託し、県が一括して指定管理に出している。管理運営については、県と市2分の1ずつの折半で負担している。

以上をもちまして、令和4年度第1回スポーツ推進審議会を閉会いたします。

(16:05 閉会)